

「いなべ！いなべ アイデアコンテスト (INA-CON)」

2017.2.17

・ 講評/関わる意義

いろいろなアイデアを出していただきありがとうございました。

今回のアイデアの中には、森などの自然資源を活用するアイデアが多くありました。

まず、アイデアの中にありました移動販売・キッチンカーですが、現在いなべ市では、市内の約58%を占める森林を活用し

「にぎわいの創出」「生業の支援」「山辺の活性化」につなげるための実証実験として、ダイハツ工業と連携した移動式の店舗として、軽トラックの荷台を使ったモバイルヒュッテ「うごくまち」「うごくにぎわい」事業を行っています。

今後、高校生の皆さんの意見も参考にしながら、

この「うごくまちプロジェクト事業」のバージョンアップができるのではないかと感じました。

次に、アスレチックですが、こちらも「冒険の森いなべ」を、4月からの令和3年度に整備を予定しています。

未利用の森林を活用した自然アクティビティと、自然体験ができるフィールドを整備し、自然体験教育や、健康づくりができればと考えています。

こういった整備の中でも、高校生の皆さんだからこそイメージできるものがあるのではないかと感じました。

次に、「にぎわいの森でのいなべ製品の販売など」ですが、いなべ市が実施している取り組みの中で、皆さんと連携することでバージョンアップができるものが多くあるのではないかと感じました。ありがとうございます。

まさに現在、市で進めている事業も多数あります。

また、他のアイデアとして、自然の中でのライトアップやイルミネーションといった意見も多くいただきました。

手つかずの自然の中にライトアップやイルミネーションをすることで、シカなどの夜行性動物による獣害対策につながるのではないかと感じました。

その他にも、道路に絵（トリックアート）というアイデアがありました。高速道路の建設が市内で行われています、この施設を利用させていただき、クリエイターの方に描いていただくのも面白いと思いました。

現在、いなべ市の魅力を感じて、少しずつクリエイターさんが引っ越してきます。クリエイターさんを紹介する「いなべ、暮らしを旅する」というガイドブックを作成していますので、機会があれば見ていただきたいと思います。

お配りした資料には、「クラス代表アイデア別件数」「ジャンル別」「クラス代表以外のアイデア」また、今回いなべ市担当職員からのアイデアに対する意見などを載せておりますので見ておいてください。

また、他に今回の意見としては、

- ・いなべ市について知れた
- ・他の人の意見が聞けた
- ・いろいろ想像できた
- ・いなべ市を魅力的に出来たらうれしい

などがありました。

いなべ市としても、若い方の意見を聞く機会が少ない中で、今回、高校生の皆さんからまちづくりのアイデアをいただくことができましたので、このアイデアを参考に皆さんが住みやすい、そして通学しやすいまちづくりを進めたいと思います。

ありがとうございました。

改めてですが、
今回の取組の目的は、若い方に市の計画や現状を知っていただき、
課題や将来について考えることで、まちづくりへの関心を高め、
そこで出たアイデアの中から、市の施策に取り入れるという
市役所の「まちづくりの事業」です。

「皆さんがこのまちづくりに関わっていただく意義」として

まず、市役所の存在目的というは「住民の福祉の増進」であり
「住民」とは生活の拠点はその自治体にあり（勤務地・通学先を含みます）
「福祉」とは幸福感・満足感・魅力のことで、
この幸福感・満足感・魅力あるまちというのは、住んでよかったと思え、住むま
ちに愛着が持て、住んでいることが誇りに思えるまちのことです。

今回の取組により、そのように思ってもらえる まちになればよいと思います。
そのためには、住民の声を聴き、住民と一緒にまちづくりを進めることです。
「住民が主役のまちづくり」とよく言われる言葉があります。
その方法として、問題を発見し、その問題を解決するための目標を立て、
それを実現するために必要な仕掛け・仕組みを作り、
市民と連携し、仕掛け・仕組みを動かすことです。

「若い方がまちづくりに関わる意義」のまとめとして、
その1は、若い方の柔軟な発想をまちづくりに活かすことにより、若い方にとっ
て魅力あるまちとなり、若い方が集まり交流が生まれ「若い方の定住・移住につ
ながる」ことになるからです。

その2として、まちづくりを通して考え行動し、話し合い協働することで、
いろんな人と出会うことによる社会参画や、
人やまちを元気にすることによる社会貢献、
そして能力を発揮し、自分たちのまちを自らの手で創る創造的な活動をして
自己実現につなげることにより、「自分の進むべき道の探求」になると考えます。

皆さんは「アイデアコンテスト INA-CON」で第一歩を進めてもらっております。

それでは、皆さんありがとうございました。
また、いなべ総合学園の教職員の皆様、お時間をいただき、誠にありがとうございました。